

# 末廣かわら版

発行

清水港船宿記念館「末廣」  
公益財団法人 するが企画観光局  
〒424-0943 静岡市清水区港町1-2-14  
TEL・FAX 054-351-6070 【月曜休館】

**今**年も昨年に引き続き、40℃以上の酷暑日が増加する可能性が高いそうです。末廣は、街の涼み処『クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）』に指定されています。お買い物や散歩の途中に暑さを感じたら、どうぞお気軽にお立ち寄りください。冷たい飲み物やかき氷もご用意してお待ちしております。



次郎長を彩る  
ゆかりの人々④

## ひろ せ たけ お 広瀬 武夫

清水の海で男を学び、  
旅順の海で永遠の軍神に——  
時代が惚れた、最後のサムライ。



軍神・広瀬武夫が、次郎長の船宿「末廣」を訪れたことはよく知られています。その「末廣」は、山岡鉄舟や関口隆吉（初代静岡県知事）などの後押し、また地元の有力者の播磨屋与平、魚問屋の柴野栄七などの協力により、明治19年（1886年）11月に開業披露されました。

そして広瀬少尉（後の中佐）の紹介で、小笠原長生、向山慎吉、出羽重遠なども訪れるようになり、次郎長の武勇伝を聞いたのでした。前号では広瀬武夫が小笠原長生に「清水に行って次郎長に会わない間抜けがあるか」とまで云って紹介状をもたせた経緯を記しました。ではその広瀬はどのようにして次郎長のことを知ったのでしょうか？ 広瀬が飛騨高山から上京したのが明治16年、翌17年に天田五郎の東海遊侠伝が出版され、18年に海軍兵学校（21年江田島移転）に入学、そして22年卒業、軍艦比叡の見習士官となります。その後、清水へ寄港の際、広瀬を含む50名ほどの海軍軍人が名代の侠客次郎長を末廣に訪ね、そのときから意気投合したという逸話があります。23年には小笠原長生が末廣の2階で次郎長と面会していますので、卒業後1年足らずという短い間に次郎長と出会い、次郎長が26年に亡くなるまでの4年間という交際になると思われます。

さて、その広瀬武夫ですが戦前までは軍神として文部省唱歌にも歌われ、銅像も3体建てられました。東京にあった銅像は戦後GHQの命により撤去されましたが、彼の故郷である大分県竹田市の広瀬神社と、少年期を過ごした飛騨高山市の銅像は現在も残っています。

今では彼を知る人も少なくなりましたが、かつてその死は軍人の戦死という枠を超え、「美しき男の死」として日本全国で敬愛と哀惜を集めました。その様子は、『広瀬武夫 旅順に散った“海のサムライ”』という本のタイトルにも象徴されています。

“サムライ”広瀬は駐在武官としてロシアに5年間滞在しましたが、ロシアの社交界でも人気の的で、ロシア海軍大佐の令嬢アリアズナとの交際のほか、ペテルセン博士の令嬢マリアも広瀬を愛した一人でした。それは「姿勢を正し、心を整え、節度ある言動に」と常日頃から努めていた彼の人柄からきたものでした。

やがて帰国を命じられた広瀬は、厳冬のシベリア横断に挑みます。現地のロシア人でさえ恐れる過酷な環境のなか、約2,000キロの道のりを馬籠で踏破してみせたのです。

そんな若き日のサムライが次郎長に教えを請い、敬愛したのでした。



## 末廣七夕笹飾り

7月1日(水)～7月7日(火)

● お願い事の短冊も  
ご用意しています。

## 次郎長映画を楽しむ

7月25日(土) 14時～15時半

● 募集定員:20名(先着順)  
● 参加料:700円(缶茶・ゆび饅頭付)  
● 7/1予約開始

## 末廣夏祭り

8月1日(土)～2日(日)

● 1日(土)は、清水みなと祭りの  
総踊りにあわせて21時  
まで夜間営業します。

## 夏休み子ども寄席体験 紙切り体験と落語体験

8月11日(火・祝) ①紙切り体験:10時半～12時 ②落語体験:13時半～15時

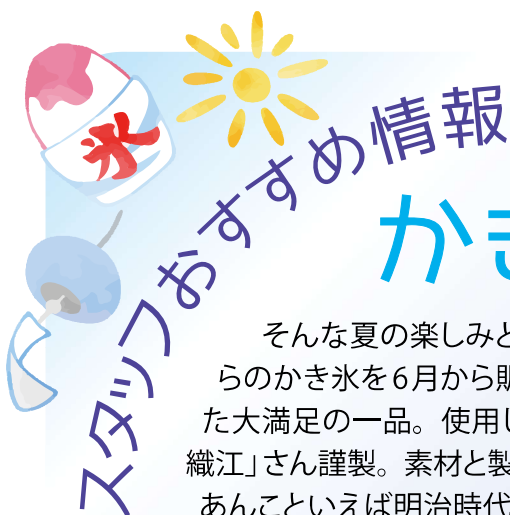
● 募集定員:各20名(先着順) ● 参加料:各500円(駄菓子・飲み物付) ※両方体験割引あり  
● 7/1予約開始(7/31締切)

## 次郎長巷談 次郎長さんと妻たち ～三代目お蝶さんを中心に～

9月12日(土) 10時半～12時 ● 募集定員:20名(先着順) ● 参加料:700円(缶茶・ゆび饅頭付) ● 9/1予約開始



末廣 お申し込み・お問い合わせ先… ● 電話 054-351-6070(月曜休館) ● メールアドレス suehiro@suruga-mtb.or.jp



## かき氷



去年の8月6日、静岡で最高気温41.4℃を記録し、全国1位の暑さになったことを覚えている方も多いと思います。今年もうだるような暑い夏になりそうです。

そんな夏の楽しみといえば、甘くて冷たいかき氷。末廣では、誰もがほっとする昔ながらのかき氷を6月から販売しています。抹茶シロップに贅沢にあんことアイスをとッピングした大満足の一品。使用しているあんこは「ゆび饅頭」でおなじみの名店「船橋舎織江」さん謹製。素材と製法にこだわった、特別な味わいをぜひご堪能ください。あんこといえば明治時代、興津出身の北川勇作氏が煮炊釜や豆の皮剥き機などの機器を発明し製館産業の原点を築きました。以来、近代製館の発祥の地として清水区興津はあんこのふるさとなどと呼ばれて親しまれています。

一口で外の暑さを忘れさせてくれること間違い無しの、甘くて冷たいかき氷、ぜひ味わいにお越しください!



## スタッフのつぶやき

7月といえば七夕祭り、末廣では毎年恒例の七夕笹飾りを行います。

飾りはすべてスタッフの手作りで、ご来

館の皆様には短冊に願い事を書いていただいておりますが、短冊の色に意味があるのはご存知でしょうか?

青・緑は成長、赤は感謝、黄色は信頼、白は義務、紫は知性・仁・礼・信・義・智なのだそうです(意味は諸説あり)。末廣では色とりどりの短冊を用意していますので、ぜひ願いごとを書きにおいでください。



静岡市清水港船宿記念館「末廣」

静岡市清水区港町1-2-14

バスで ● JR清水駅西口3番バス停より乗車→「港橋」下車 徒歩0分(すぐ目の前です!)  
お車で ● 港橋駐車場(名取歯科医院様横)3番・16番(黄色の三角コーンが目印)

インスタフォロー  
キャンペーン

末廣のInstagramをフォローしていただいた方に、もれなく粗品をプレゼント(毎月先着50名様)。QRコードを読み込み、スタッフに画面をお見せください。また、来館者アンケートにお答えいただいた方にも粗品を差し上げております。ぜひ、ご協力ください。

